

（１）喫煙が及ぼす健康被害について

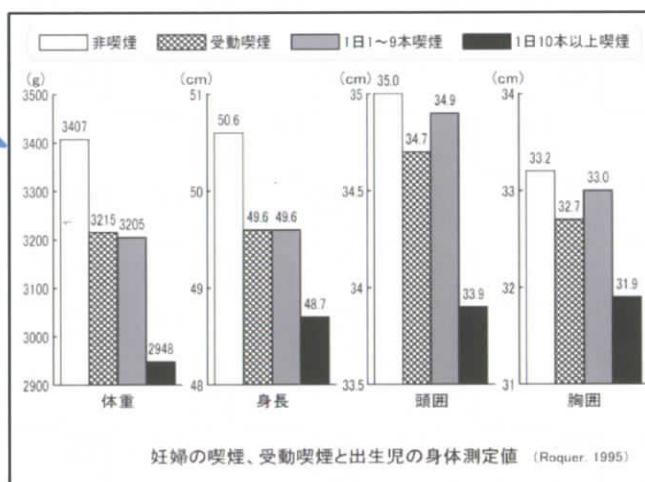
Ⅱ．受動喫煙が胎児や子どもに及ぼす健康被害について

受動喫煙の赤ちゃんへの影響



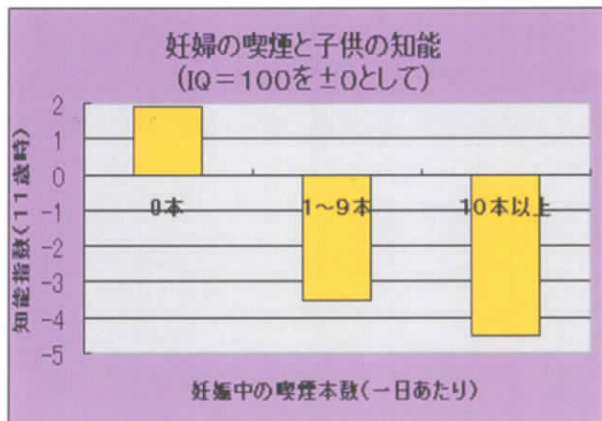
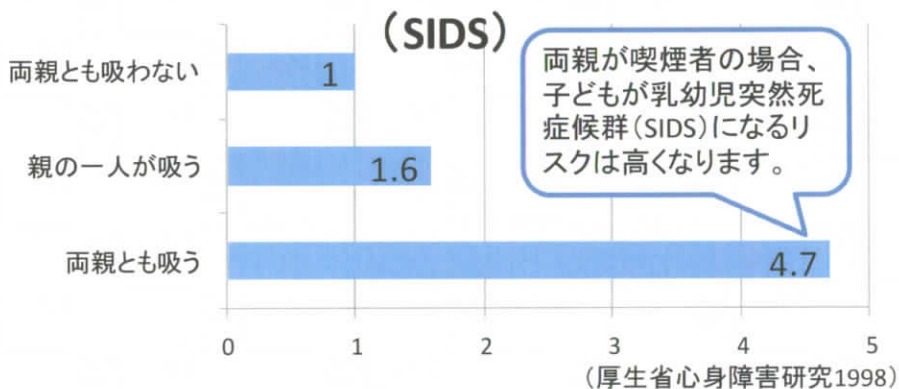
お母さんがたばこを吸わなくても、家族がたばこを吸うとおなかの赤ちゃんに影響があります。

喫煙 & 受動喫煙によって、
出生時の赤ちゃんの体重が
少なくなります。



喫煙 & 受動喫煙
によって、乳幼児
突然死症候群
(SIDS) のリスクが
高くなります。

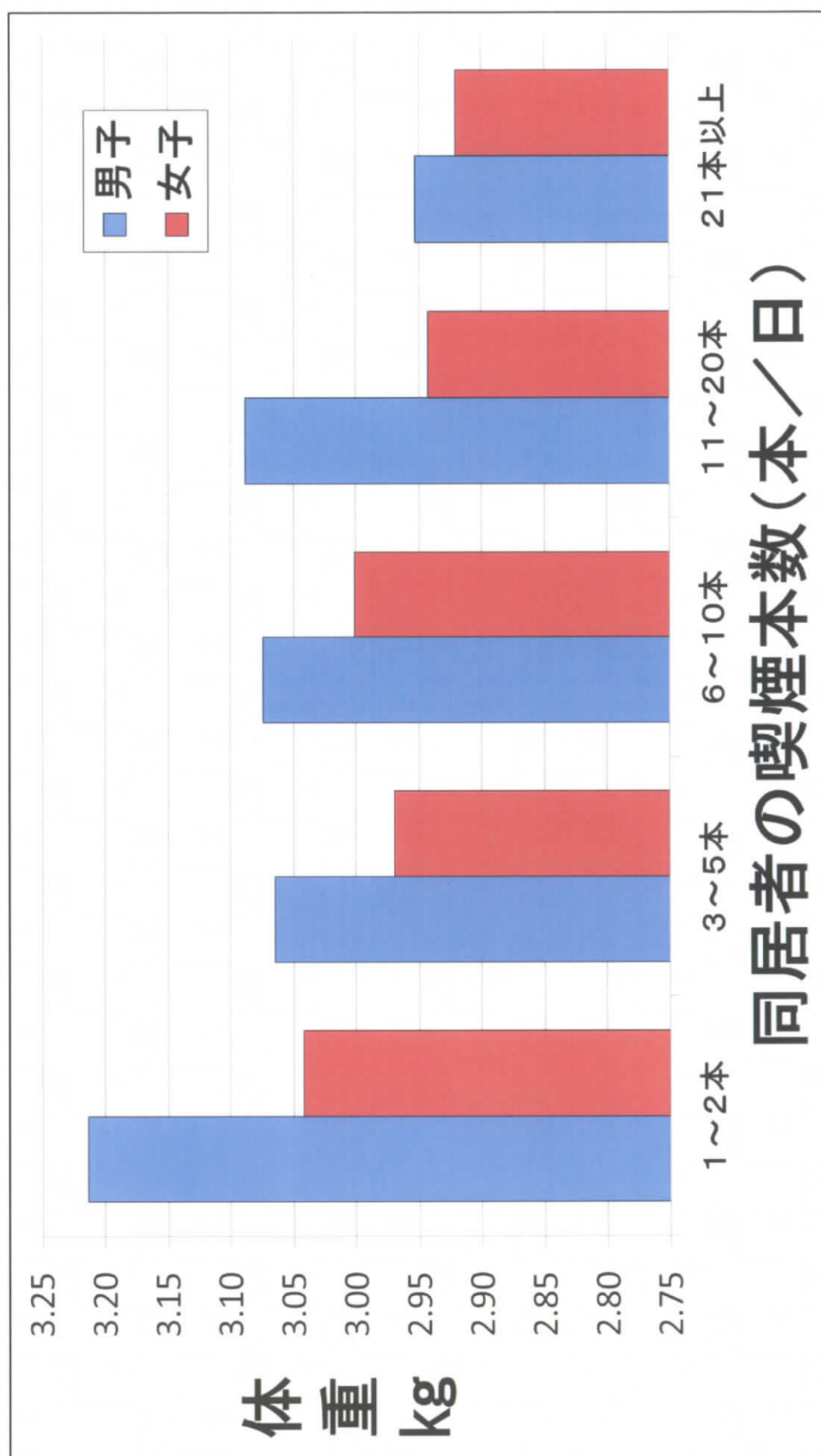
両親の喫煙と乳幼児突然死症候群



妊娠中の喫煙や受動喫煙が、
赤ちゃんの知能指数にも影響
します。



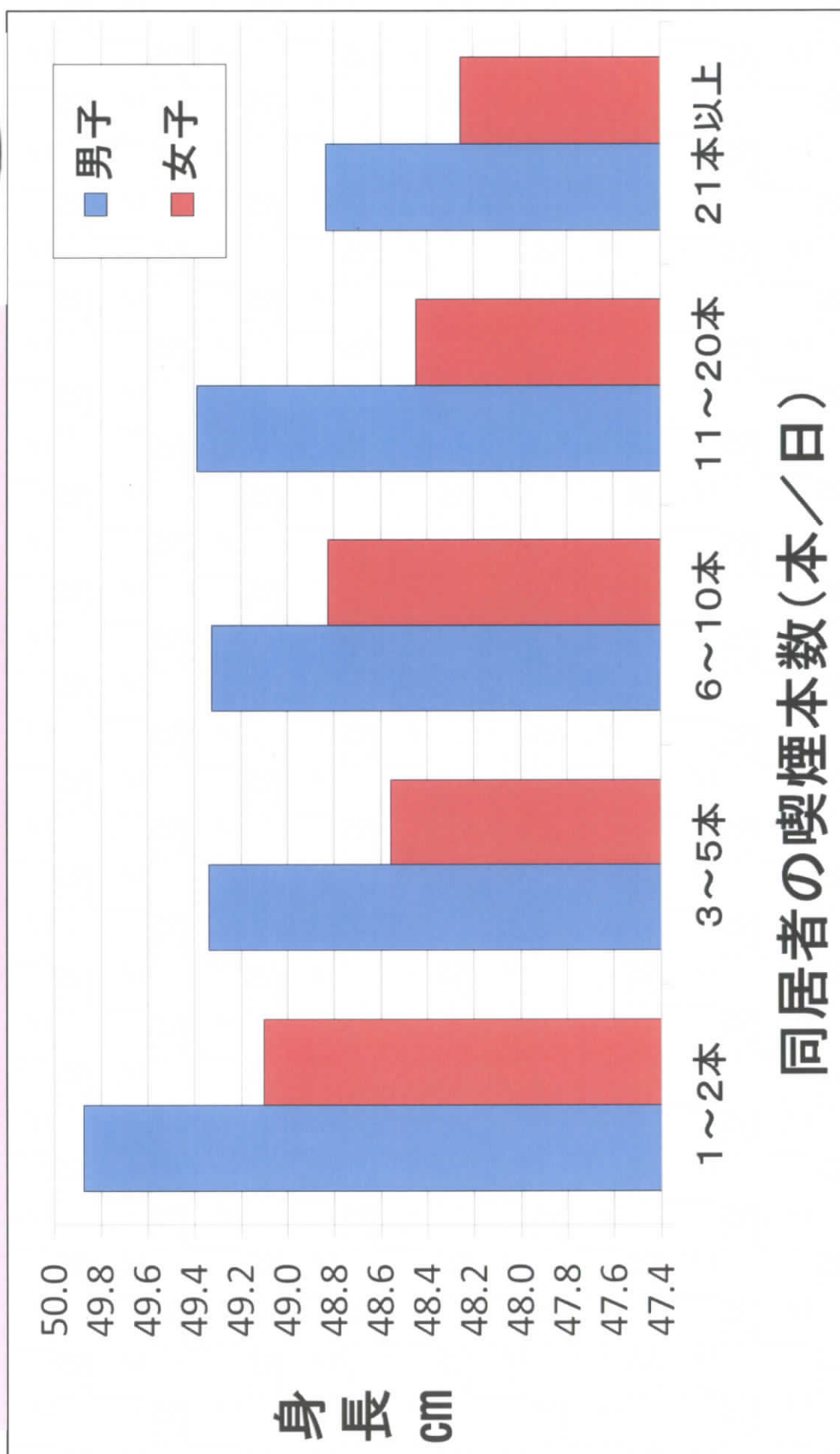
妊婦の周りで、父・同居者が喫煙すると
出生児の体重は少なくなります。



平成22年 乳幼児身体発育調査報告書より

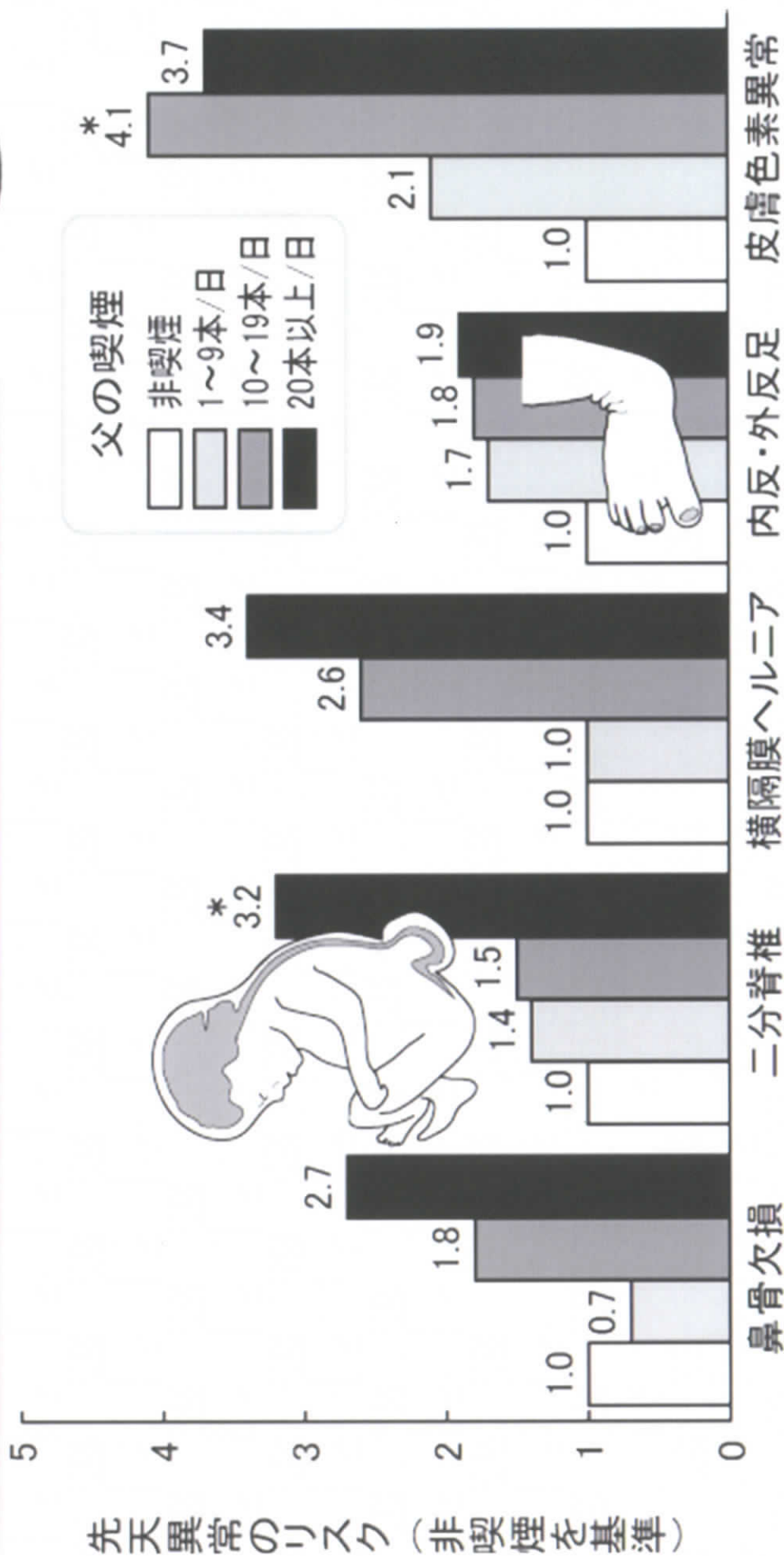


妊婦の周りで、父・同居者が喫煙すると
出生児の身長は低くなります。



平成22年 乳幼児身体発育調査報告書より

妊婦の周りで、父・同居者が喫煙すると先天異常が増加します。



父の喫煙と出生児の先天異常 (Zhang, 1992)

(*は有意差あり)

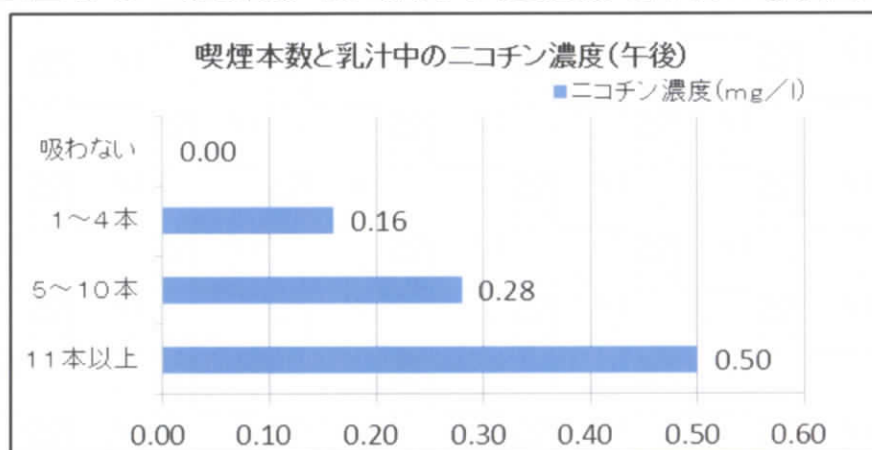
タバコ病辞典図表コレクションより引用

喫煙による赤ちゃんへの影響



赤ちゃんがうまれてからも禁煙しましょう！

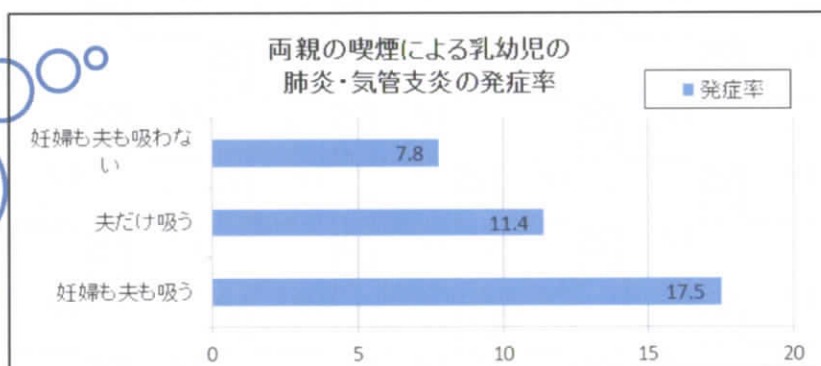
母乳はお母さんの血液からできています。お母さんがたばこを吸うと、ニコチン（毒物）が母乳中に分泌され、母乳の量も減少します。



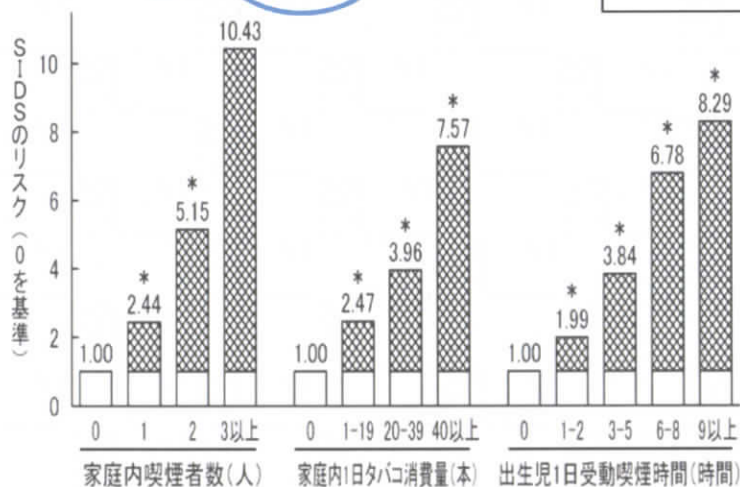
Perman他,JAMA120, たばこ白書第一版



お母さんや同居家族がたばこを吸うと、子どもが肺炎や気管支炎にかかりやすくなります。



Colley, 1974

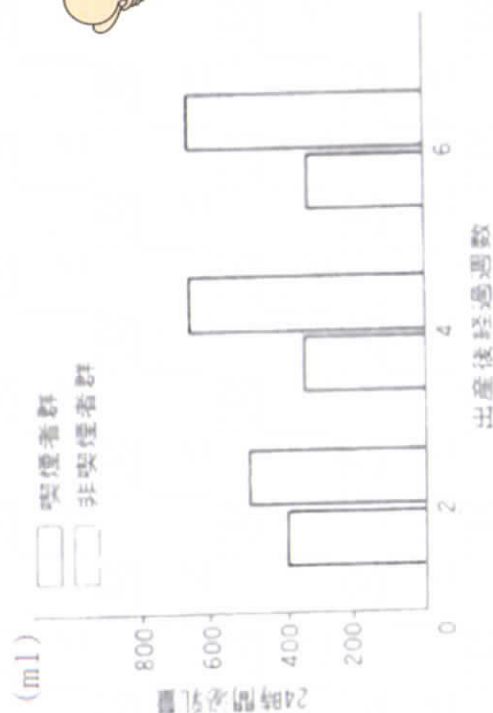


タバコ煙暴露経路ごとに見たSIDSのリスク (Blair, 1996)

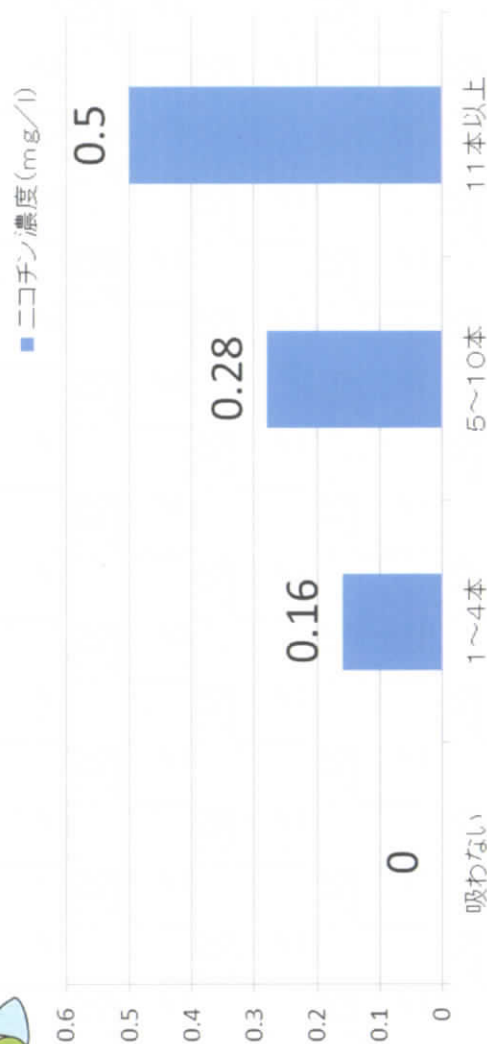
お母さんや同居家族がたばこを吸うと、乳幼児突然死症候群(SIDS)のリスクが高くなります。



授乳中のお母さんがタバコを吸うと、母乳の分泌が減り、母乳の中にニコチン(毒物)が移行します。

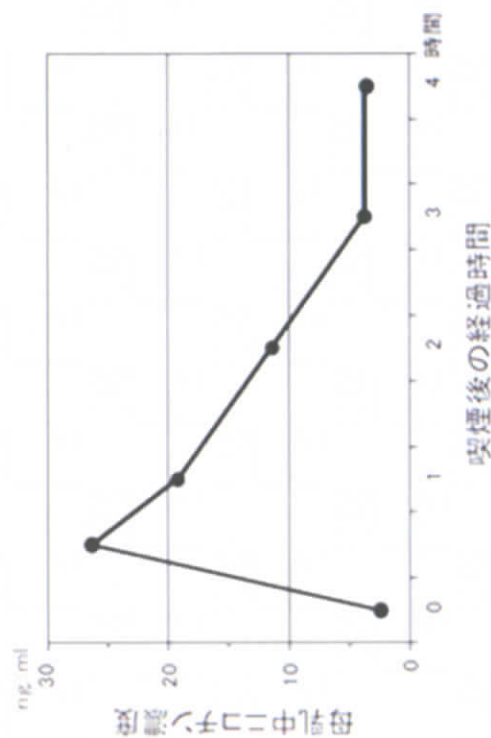


喫煙本数と乳汁中のニコチン濃度(午後)



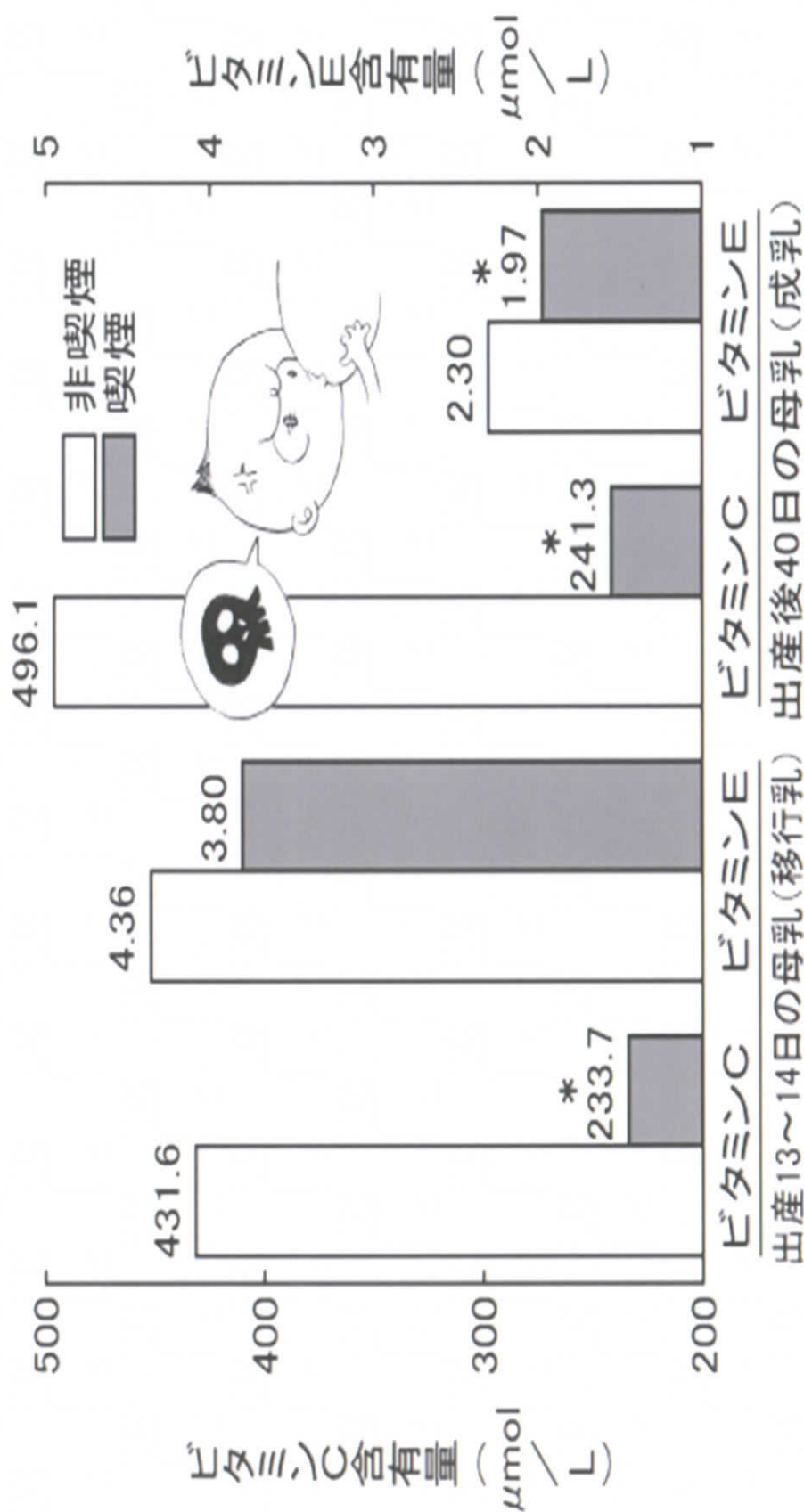
Permam他、JAMA120白書第一版

授乳中のお母さんがたばこを吸っていると、母乳からニコチンが分泌されます。「生まれただばかりの赤ちゃんが“ニコチン中毒”を起こした。」という報告もあります。





産婦の喫煙によって母乳のビタミンが減少します。

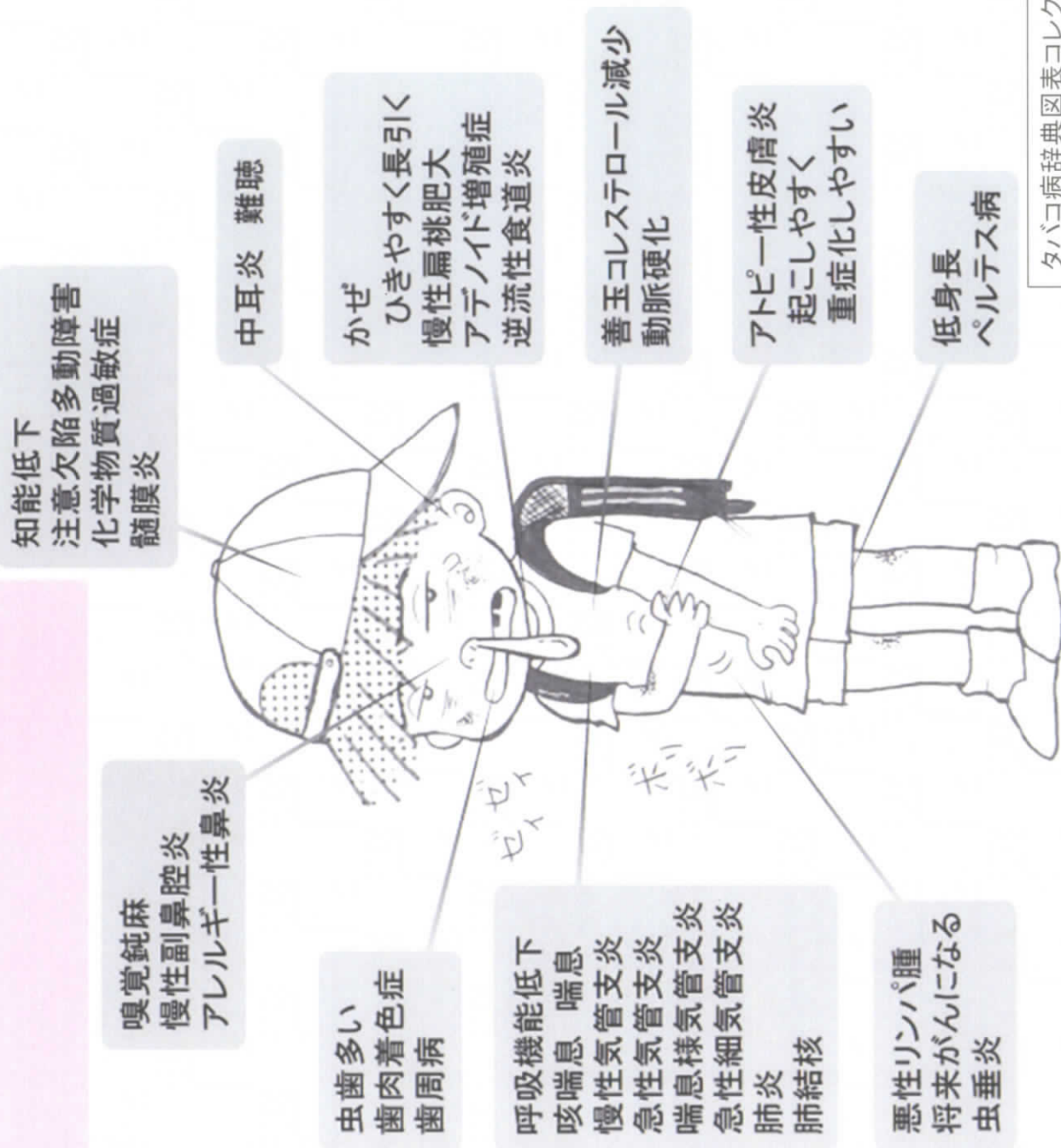


母乳中のビタミンCとビタミンE (Ortega, 1998)

(*は有意差あり)

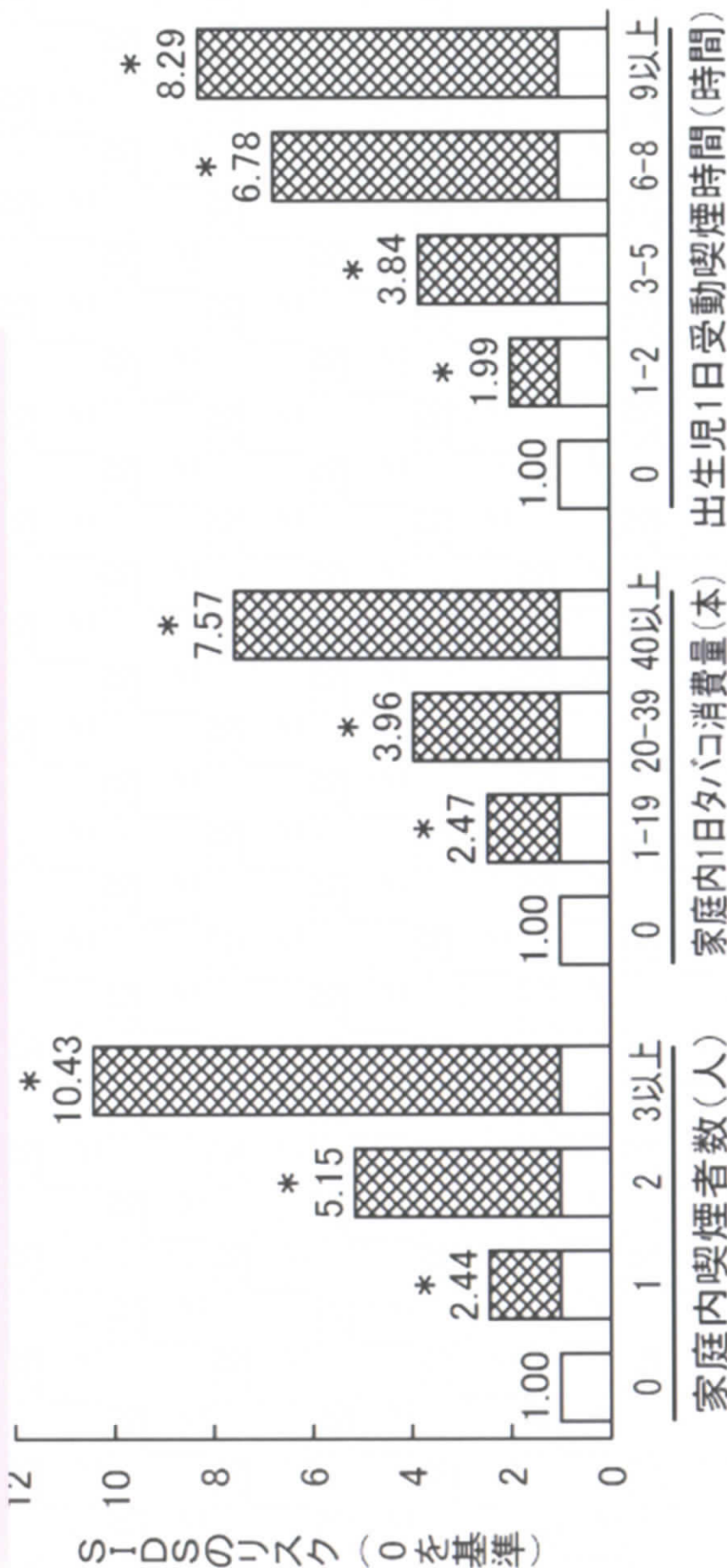
タバコ病辞典図表コレクションより引用

子どもへの受動喫煙の影響



タバコ病辞典図表コレクションより引用

お母さんや同居者が喫煙すると、
乳幼児突然死症候群(SIDS)のリスクが
高くなります。



タバコ煙暴露経路ごとに見たSIDSのリスク (Blair, 1996)

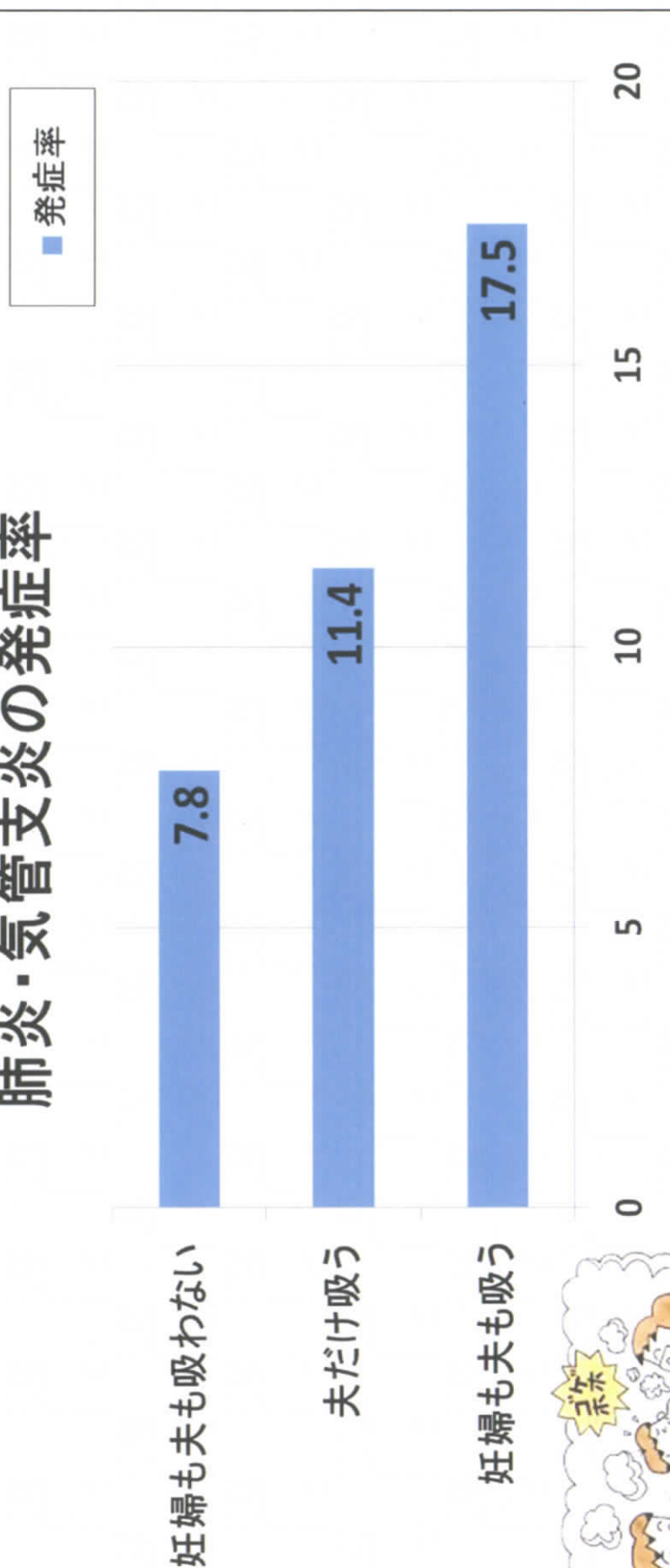
(*は有意差あり)

タバコ病辞典図表コレクションより引用

家庭内に喫煙者がいると、肺炎・気管支炎の発症率が高くなります。



両親の喫煙による乳幼児の
肺炎・気管支炎の発症率

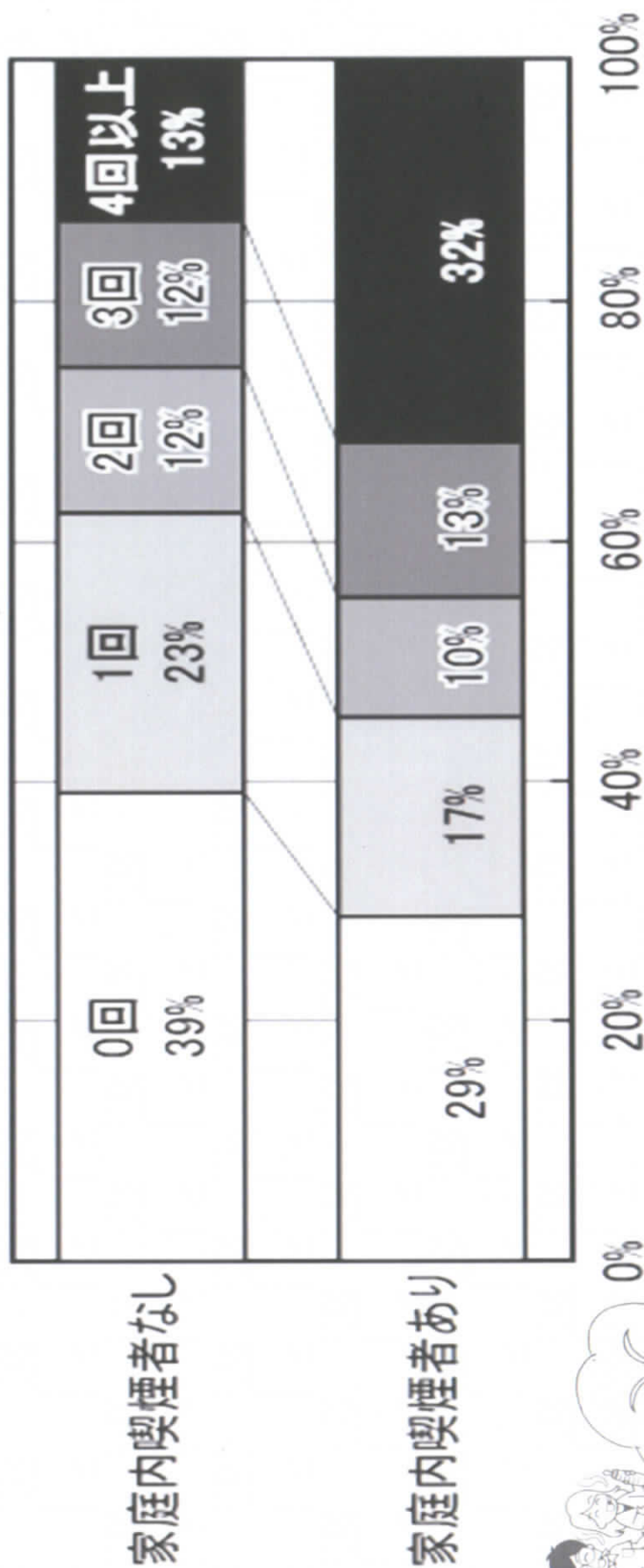


Colley, 1974



母親がタバコを吸うと、子供の肺炎や気管支炎にかかる割合が高くなる

家庭内に喫煙者がいると、小児喘息で救急受診する可能性が高くなります。

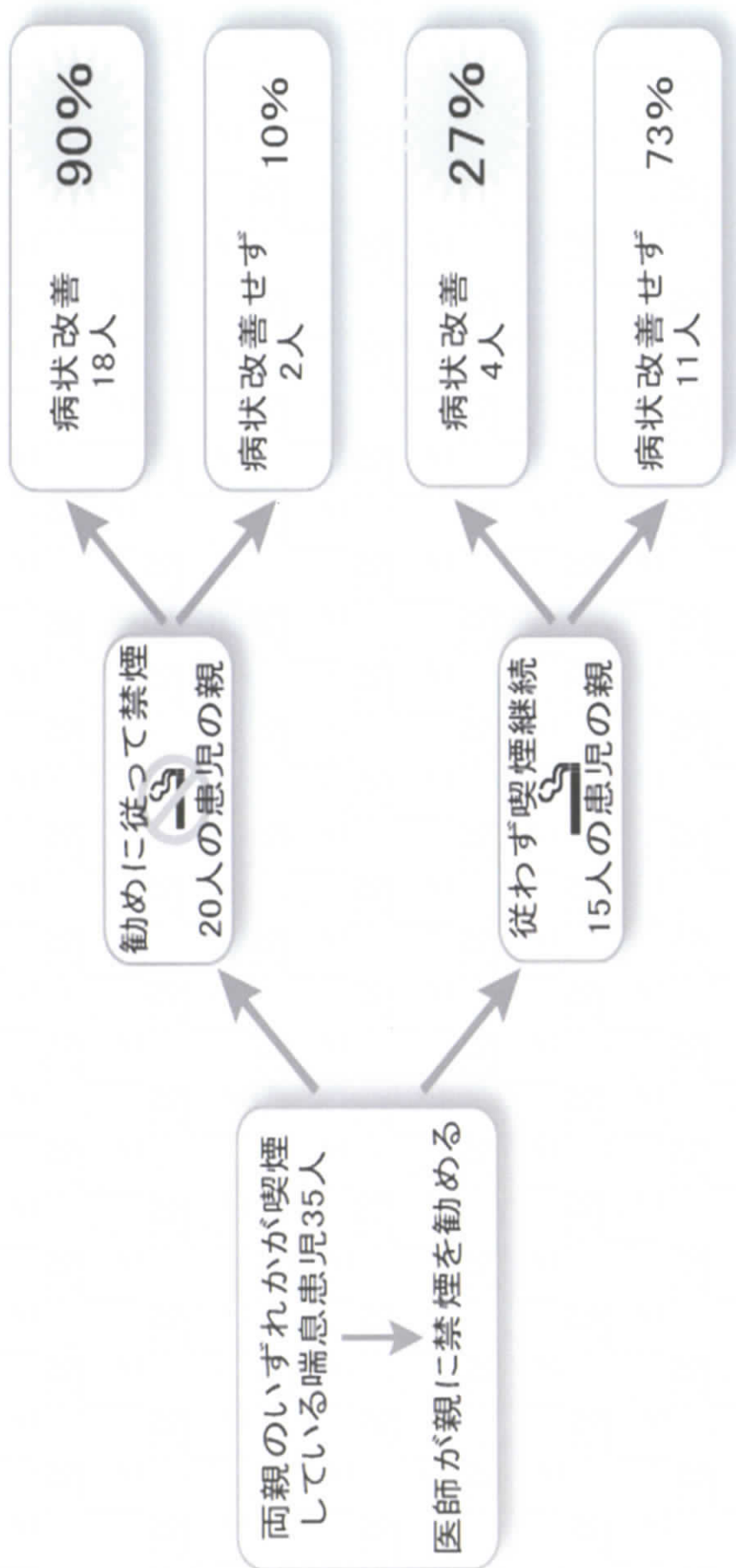


赤ちゃんをおそう煙

家庭内喫煙者の有無と喘息患児の救急治療室受診回数 (Evans, 1987)

タバコ病辞典図表コレクションより引用

両親が禁煙することで小児喘息の 病状が改善されます。



小児喘息と親の禁煙 (O'Connell, 1974)

タバコ病辞典図表コレクションより引用